



市内のがんばるものづくり企業を紹介します だいせんものづくり図鑑

no.52

中仙地域で農産物の栽培・加工・販売や食品安全・加工のコンサルタント業務を行っているのが合同会社ダイセン創農(鈴木富士子代表社員)です。

同社は2015(平成27)年の創業。2017(平成29)年に、道の駅なかせん敷地内の工場跡地に搾汁加工施設を整備し、トマトジュース「毎日がとまと曜日」の製造を開始しました。材料のトマトには、生活習慣病などに効果があるとされるリコピンが多く含まれている品種「なつのしゅん」を使用。栽培は、自社と市内農家への委託で行っており、品質管理の行き届いた新鮮な材料の調達を実現しています。



「毎日がとまと曜日」

合同会社ダイセン創農[中仙]

業種/農産物の栽培・加工・販売、食品安全・加工のコンサルタント業務
従業員数/16人

★今回の案内人は代表社員の鈴木富士子さん(写真右)と事業統括責任者の鈴木等さんです。

収穫したトマトは、4日以内に搾汁加工した後、冷凍庫に保管。市場の状況に合わせて、解凍と商品パックへの充填(じゅうたん)を行うことで、一年を通して新鮮でおいしいトマトジュースを出荷しています。

現在、「毎日がとまと曜日」は主に県内の道の駅やスーパーで販売されています。今後は県外へ販路を拡大していくことを目指し、ホームページや動画サイトを活用した商品の魅力発信や、品質保証に関する認証の取得などに取り組んでいる同社。地域の農地資源を活用しつつ、高品質な商品を製造・販売し、その魅力を発信することで、農業の新しい可能性に挑戦しています。